

龍谷大学大学院実践真宗学研究科
公開シンポジウム 2024



スピリチュアルケアと 宗教的ケア

～チャプレンとしてのアイデンティティー～



日時

2024年

12月12日(木)13:30～16:45

場所

龍谷大学 大宮学舎
西翼2階大会議室

〒600-8268 京都市下京区七条大宮東入大工町 125-1

参加無料・申込不要

YouTubeでも
公開シンポジウムをライブ配信

▶ライブ配信はこちらから



お問い合わせ：龍谷大学大学院実践真宗学研究科 合同研究室

〒600-8268 京都市下京区七条大宮東入大工町125-1 Tel.075-366-0621 <https://www.ryukoku.ac.jp/>

主催：龍谷大学大学院実践真宗学研究科 協力：龍谷大学世界仏教文化研究センター

開催趣旨

実践真宗学研究科は、本学の建学の精神である浄土真宗の教えに基づき、釈尊の教示した仏教、および親鸞の宗教を、世界的視野、かつまた地域的視点より実践的に領解し、現代における人間存在の根本問題、ならびに社会的存在として惹起する諸問題に、具体的に対応できる宗教的実践者としての能力を養成することを目的としています。

その宗教者のあり方について教育・研究するとともに、求められる宗教的実践者にふさわしい高度かつ専門的な素養をもつスペシャリストを育成していきます。その養成や育成に際して、社会実践分野では特にチャプレン(chaplain)という存在を重視します。寺院・神社・教会における実践のみならず、広く社会に心のケアを含めた働きを展開する宗教者のことです。

この度の公開シンポジウムでは、軍隊、病院、刑務所(拘置所)で実践しているチャプレンに登壇していただき、それぞれの立場からみた宗教者としてのアイデンティティーの問題、実践の特徴や課題、さらに今後の展開についてお聞かせいただければと考えています。

単に様々な宗教的背景をもったチャプレンの実際を知ることだけでなく、参加者にとって、改めて宗教者とは?という問いに対する考えを深めていただく契機となることを目指します。

実践真宗学研究科

実践真宗学研究科長 那須 英勝

スピリチュアルケアと宗教的ケア ～チャプレンとしてのアイデンティティー～

提言者



【提言1】

「ミリタリーチャプレンの任務と役割」

ハム ヒョンジュン

咸 賢俊 Ham, hyun chun 氏

現在、韓国 陸軍 作戦司令部 軍宗室長。護国武烈寺住職。龍谷大学世界仏教文化研究センター嘱託研究員。職位：大佐(Colonel)／ミリタリーチャプレン(軍宗法師)。東国大学校 仏教学科、同 大学院 応用仏教学 専攻 修士、博士課程 修了(哲学博士 Ph. D)。国防大学校 精神戦力課程 修了。米国 California DiDi Hirsch Mental Health Services Suicide Prevention Training Course修了。



【提言2】

「「地の塩」として —病院で働くクリスチャンチャプレンの 働きとその宗教性—

ハマトモ キョウコ

浜本 京子 氏

現在、淀川キリスト教病院チャプレン。日本基督教団牧師。アメリカチャプレン協会認定チャプレン(BCC)。日本とアメリカの医療施設や在宅ホスピスで従事。牧会博士。



【提言3】

「教誨の現場から —その背景に見えてくるもの—

ワカサ カズヒロ

若狭 一廣 氏

現在、天理教船東分教会四代会長。東京拘置所教誨師会会長。一般社団法人宗教者支援協会理事。元 厚生労働省「社会的養護における育ち・育てを考える研究会」委員。雑誌「社会的養護とファミリーホーム」編集長。自宅兼教会にて妻とともにファミリーホーム「陽気ぐらしの家わかさ」・自立援助ホーム「陽気遊山」を運営。保護司。早稲田大学第二文学部卒業。

コーディネーター



岩井 未来

龍谷大学 文学部
教授



森田 敬史

龍谷大学 文学部
教授

発表者

浅野 尚徳

龍谷大学大学院
実践真宗学研究科 3 年次生

宇佐美 智瑞

龍谷大学大学院
実践真宗学研究科 3 年次生

金尾 正映

龍谷大学大学院
実践真宗学研究科 3 年次生

〈お知らせ〉 龍谷大学大学院実践真宗学研究科入学試験日程

実践真宗学研究科では、理論研究と実践活動を通じて、社会に貢献できる宗教者の養成を目指しています。

入試種別		出願期間 (締切日消印有効)	試験日	合格発表
春期試験	一般入試	2025年1月4日(土)～ 1月17日(金)	2025年2月23日(日)	2025年2月27日(木)
	社会人入試			